

●長浜町の概要

長浜地区は JR 小倉駅の東約 500m に位置する。居住地としての歴史は古く、1602 年の小倉築城の折、城下町の北東端の海岸沿い（現在地）に移転し、漁師町として形成された。東西に弓なりの細長い集落は海岸沿いに旧街道がある門司往還が通り、漁師町特有の路地空間や井戸等があり、市街地にあつて古い佇まいを醸し出している。長浜地区では人口の減少、高齢化の進行があるものの、今でも小倉祇園祭、盆踊り、閻魔同大祭などの祭りを継承しており、コミュニティの維持に努めている。



南北の縦筋で分けられている行政区の区分

●住環境整備事業の実施状況

長浜地区は、漁師町特有の狭い宅地、4m未満の狭い道路も多く残っており、緊急時を始め災害時の問題を抱えていた。また、少子高齢化や単身化に伴う新たな若い世帯の導入も課題となっていた。

そこで、1997年に地区内で計画された都市計画道路整備を発端に北九州市住環境整備事業によりまちづくりが始まった。

昔からの街区が残っているため、「部分修復型」で整備を行っている。事業の主な経緯は下記のとおりである。

- 1998年 地区の現況調査、整備課題の整理、
- 1999～2001年 整備計画の策定
- 2001年6月 事業承認の受託
- 2011年3月 事業終了



住環境整備事業で建てられた
コミュニティ住宅

●まちづくり活動の状況

- 2007年～ まち歩きイベント
- 2013年～ 「岩松家一般公開イベント」
左官、建具、外壁などの建物修理の専門家を招き地域住民とともに修繕を行う。地区内外の人たちに地域資源の一つである「岩松家」を一般公開する。

- 今後の活動(予定)
 - ・長浜神輿支援活動：祭りの支援
 - ・お片付けワークショップ
 - ・まち歩きイベント
 - ・修繕ワークショップ 等



長浜の神輿